### 【配付資料2】 令和5年9月8日(金) 第2回委員会













資料

# 大阪・関西万博における パビリオン建設の状況

令和5年8月31日 内閣官房 経済産業省

## 1. 会場建設及びパビリオン建設の全体像

(1) 基盤インフラ/工事環境: 工事期間中の車両混雑や上下水・電気供給など施工環境整備が課題。

<u>(2) 主要建築物:</u> 建設事業者は決定。資材価格高騰・人手不足の中、内外装・展示を着実に進める必要。 ①迎賓館、催事場等、②民間パビリオン/自治体館、③日本政府館 など

①協会が建設する形式(約100か国):参加国が内外装・展示を円滑に進めるための支援が必要。

②参加国が建設する形式(約50か国): 楽観視できない状況。早急に参加国・建設事業者と調整が必要。

#### ②参加国が建設する形式の建物の検討状況 ○パビリオンの建設事業者が決定:10か国程度

※この他、基本構造は協会、内外装等は自国で行う 建築方式(所謂タイプX)に関心を持つ国あり。

○依然として、楽観できる状況ではなく、引き続き、 参加国と建設事業者の間に立って調整を実施。

- ・参加国と建設事業者の交渉妥結まで伴走 ・参加国に対する支援策(タイプX)活用の意向確認 ・パビリオンの施工環境整備の実施



